

大台町議会議員選挙公報

投票日 令和 8 年 2 月 1 日（日）

投票時間 午前 7 時から午後 6 時まで

投票所

投票区	行政区域	投票所名
第 1 投票区	千代、柳原	千代集会所
第 2 投票区	本郷、宮野、下新田、中丸、茶浦	日進公民館
第 3 投票区	神瀬、下楠、上楠、栗生、高奈	大台町健康ふれあい会館
第 4 投票区	長ヶ	長ヶ集会所
第 5 投票区	下三瀬、上三瀬	大台中学校武道場
第 6 投票区	佐原、弥起井	大台町立就業改善センター
第 7 投票区	上菅、下菅、川合	三瀬谷認定こども園
第 8 投票区	滝広、大ヶ所	大滝地区農業構造改善センター
第 9 投票区	下真手、上真手、本田木屋、泉	真手地域総合センター
第 1 0 投票区	天ヶ瀬、江馬、小切畑、浦谷、熊内、茂原、藺、清水	荻原出張所
第 1 1 投票区	栗谷	栗谷生活改善センター
第 1 2 投票区	明豆、小滝、神滝、滝谷、大井、南、唐櫃	大台町領内地域防災コミュニティーセンター
第 1 3 投票区	岩井、桧原	大台町大杉谷地域防災コミュニティーセンター
第 1 4 投票区	若山、久豆、大杉	久豆生活改善センター

○投票所へ行くときは、入場券をお持ちください。

もし、入場券が届かなかったり紛失した場合でも、選挙人名簿に登録されている方は投票ができます。

○開票は、2 月 1 日（日）午後 8 時から大台町 B & G 海洋センター 体育館で行います。開票速報は午後 9 時から 3 0 分間隔で、ケーブルテレビ行政番組及び大台町ホームページでお知らせします。

大台町選挙管理委員会（役場総務課内） 電話 8 2 － 3 7 8 1

地域の未来、子どもたちの笑顔を守る町づくり 高齢者が安心して暮らせる町づくり 皆様の声を聴き、行動・熱意で形にします ●子どもたちの登下校に寄り添い、子どもとご家庭の声を受け止めます。 ●日常の小さな気つきや不安にも向き合い、安全で安心できる環境づくりに活かします。 ●SNSなどの活用や、各地域に足を運び、現場の声を直接お聞きます。 ●暮らしの中の不安やお困りごとなど、地域ごとの課題を見える形にし、解決に向けた行動に繋がります。 ●冷めない熱意と粘り強さを持って、大台町の課題解決に取り組めます。	 まえのたいすけ	『子育て世代の声で、世代をつなぐ 全ての世代が輝く町へ』 1期4年、重責を担わせていただいた経験を活かして、議会の真ん中で、皆さまの声をカタチにします。 ◎【攻めの人口減少対策】 働く場所をつくり、関係人口を増やす。負債を資産へ。空き家と農地の利活用を一歩先へ進めます ◎【攻めの健康投資】 生涯学習の充実を通じた「健康寿命の延伸」を。個人の努力に任せるのではなく、将来の医療・介護費抑制を見据え、文化・スポーツ活動の充実を一歩先へ進めます ◎【誰ひとり取り残さない守りの町政】 子育て支援や防災・減災対策等への財源確保をはじめ、親の目線で、支えが必要な方、<u>全ての世代が安心して住み続けられる町政</u>を守りぬきます 皆さまの声をカタチにするため、引き続き訴えてまいります。	 古家だいすけ
暮らしに寄り添う、それが私の原点！ 6期21年の議員経験を活かして、時代に則した考え方を基本に、誰もが安心して暮らすことができる町の実現を目指します。 取り組みこと ①暮らしを見つめる。 ②育ち、学び、励む環境 ③憩い、生きがいを増やす ④産業の活性化 ⑤自然環境と生活環境を守る 町が賑わう活力を！ 寄り添い、対話する町政！ 【皆様と想いを合わせて】 人を思いやり、子を愛し、 地域を想い、町を誇りに思う 気持ちを大切に、皆さんと共に歩 んでまいります。 寄り添って、安心で、暮らしやすい 町づくりを進めます。 ほりえ洋子	 ほりえ ようこ	みやた明彦のテーマ つなぐ ◎町政と町民をつなぐ ○活動報告誌「町とのかけ橋」を発行し、町の情報も発信 ◎保育園等・学校と町民をつなぐ ○地域みんなで子どもを育てる、あたたかい町をつくる ◎高齢者と若い世代をつなぐ ○世代を超えて支えあえる、高齢者の居場所づくり ◎災害にも負けない、心をつなぐ地域の実現 ○共助(地域住民が助け合う)の力が育つ政策の実現 ◎若い世代につながる議会にする ○議会の活性化と議員定数の見直し(定数減等)の実現 1期4年間の議員活動を通じて、町の素晴らしい取り組みを、まだまだ発信できること、また、町民(特に高齢者の方)の素晴らしい力も十分にもっと活かすことができると感じました。 つなぐことで、町の力はもっと生きる。 その思いで、次の4年間に挑み、やりきりたいと考えています。	 みやた明彦
政策実現率 No.1 平成16年12月30日、【旧】大台町議会議員に就任してから21年間、派手な言葉より現場で聞いた声を大切に、町政で形にしてきました。 21年間で培った知識と経験を活かし、大台町民で良かったと感じていただけるよう、 「批判より提案」、「対決より解決」を信条に、小さな声も聞き逃さず、これからも大台町の暮らしを守るため、皆様の「声を形に」できるよう、しっかりと努力してまいります。 みなさんの 声 を 形 に！	 小野けいじ	元坂は、皆様の声を 町政に届けます！ 未来の子どもたちのため、 元坂は行動いたします！ 無駄を省き町民の負担を 軽減しなければいけません！ 大台町のPRに、 元坂は全力で取り組みます！ 福祉にも全力、ひとり暮らし の高齢者の声を聞きます！	 げんさか まさひと 元坂正人

プロフィール 1977年9月 旧宮川村生まれ (48歳) 1998年 株式会社宮川観光振興公社 1990年 荻原小学校 卒業 「奥伊勢フォレストピア」 入社 1993年 宮川中学校 卒業 2017年 奥伊勢フォレストピア 支配人 就任 1996年 松阪商業高等学校 卒業 2025年 同 支配人 辞任 (勤務継続) 1998年 高田短期大学 卒業 坂東 ちはる 3つの取組 💡 大台町の魅力を町内・日本中・世界へ発信 💡 美しいまちづくり 💡 みなさまの想いを町へとどける 『笑顔あふれる大台町』をめざして ～ 働く現場から、町政を動かす～ 大台町の強みは、豊かな自然と、そこで暮らす人の力。 美しいまちとは、景観の美しさだけではなく、人が人を思いやり安心して暮らせる環境が整っていること。 地域の人々の関わりによって大切に受け継がれてきた、豊かな自然を伝え、多くの人に大台町を訪れてもらい、魅力を知ってもらおうことが、町の活性化や町民の充実した暮らしにつながると考えています。 大台町の価値を守り、活かし、立候補後も現場を離れず、一人ひとりの声を町政に届け、笑顔あふれる大台町をめざします。	 坂東 ちはる	三つの力で支え合う地域社会の構築 ～ 知力(町民)・地域力(地域)・行政力(行政) ～ 人口減少を迎え、三つの力が連携することが土台となる！ 具体的には、次の四つに取り組みます。 ① 誰もが幸せに暮らすやさしいまちづくり 認知症になっても安心して暮らし続けられるよう、町全体で支える『やさしいまちづくり』 ② 地域力の醸成 行事の継承・復活など地域が支え合い、地域が元気になる地域力の醸成 ③ 猟友会の持続・発展 獣害や熊出没対策などの猟友会の活動は、町民の日常生活の大きな支えとなっています。今後の猟友会の持続・発展 ④ 更なる議会改革 議員定数の検討、議会基本条例の見直し * 議会基本条例は、議会及び議員活動の基本事項を定めています。 2014年 監査委員 2020年 議長 2016年 総務教育民生常任委員長 2022年 議長 2018年 議会運営委員長 2024年 監査委員	 岸 よしたか
50歳！未来の大台町のために全力を尽くしてがんばります！ 木下まさき 5つの約束！ 福祉・医療の充実 高齢者も障がいのある皆さま一人ひとりの課題を共有し、地域の助け合いによる安心・安全め充実に取り組みます。 地域資源の活用 空き家や耕作放棄農地、森林管理など今ある資源を最大限に活用できるよう取り組みます。 獣害の対策 各地域の課題を共有し、協力体制の強化ご整備に取り組みます。 学校セキュリティの強化 子どもたちに安心・安全な環境整備に取り組みます。 多様な育児支援サービス 子育てしながら安心して過ごせるコミュニティ、場の確保、サービスの提供と拡大を目指します。	 木下 まさき	災害に強い山林をつくり、清流宮川を取り戻す！ 年々宮川の流量が低下し、水質や透明度も悪化しています。特に平成16年の豪雨災害以来、復旧工事は行われてはいるもののあまり効果がなく、台風のたびに新たな山の崩落も発生し、その都度、土砂が川に堆積している状況です。対策として、山林を整備することで、災害に強い山と昔の様な清流宮川を必ず取り戻します。 ●災害に強い山林の整備 ★「針広混交林」への転換 針葉樹(スギやヒノキ)と根が深く土をつかむ力が強い広葉樹を混生させ地滑りに強い山をつくる。これにより獣害対策にも効果！ ★ 自伐型林業の支援 壊れにくい道を作りながら丁寧に間伐を行う「自伐型林業」を推進し、土砂流出を防ぐ。 ★ 森林環境譲与税の有効活用 町に配分されている「森林環境譲与税」を「危険斜面の整備」や「林道の強靱化」へ優先配分する。 ●河川環境の維持・整備 ★ 堆積土砂の撤去と浚渫(しゅんせつ)の定期的実施 川底の上昇が不安視されるため、水の通り道を確保すべく土砂撤去を強化する。 ★ 河川敷の流木等の除去 放置された流木は、橋に詰まることが洪水の一因になることから、山林整備とセットで、河川沿いの流木や竹林の除去と管理を徹底する。	 ほそぶち 元彦
皆さまとともに 明るい町政を 町づくりに取り組みます ① 町民が安心して暮らせる ② 農林業の活性化に取り組みます ③ 地域公共交通の 充実に取り組みます	 中道 たけし	すべては町民のために 大台町議会 議長 元三重県町村議会議長会副会長 一、子供たちが夢を持てる町 高齢者が安心して暮らせる町を目指して全力をつくします 二、大台町ならではの教育 大台町でなければ出来ない教育 その様な教育ができる環境づくりに尽くします 三、高齢化が進む大台町では交通網の整備は急務です いつでも気軽に外出でき、人々と交流することがとても大切である 人々が安心して暮らせる町を目指して全力を注ぎます	 こばやし 小林やすお

～ “この町を先進大台に” ～ 斬新的な政策を取り入れ、町の薄い地名度を揚げ 「住みたい町・魅力ある町」を移住希望者や観光客が 好感を持てるような政策を提言します。 ○ 休耕地の利活用 ・ 休耕地を高価で売れる果樹の栽培の推奨。 ・ 休耕地を椎茸の原木の植栽の推奨。 ○ 獣害対策の強化 ・ 獣肉（ジビエ）の加工所の設立 ○ 観光資源の発見と創作 ・ 観光資源の再探求、イベント創作の推進。		(余白)	
	米森 清裕 よねくら もりきよひろ		
(余白)		(余白)	
(余白)		(余白)	